

平成30年5月11日

八街市議会議長 木村利晴様

議会運営委員長 林 修

総務常任委員長 川上雄次



議会運営委員会・総務常任委員会合同視察研修報告書

先進地視察の概要を下記のとおり報告します。

記

1. 視察者名

[議会運営委員会]

- ・委員長 林 修三
- ・副委員長 新宅雅子
- ・委員 加藤 弘、川上雄次(総務常任委員長)、
小高良則、石井孝昭

[総務常任委員会]

- ・委員長 川上雄次
- ・副委員長 小菅耕二
- ・委員 林 政男、山口孝弘、
林 修三(議会運営委員長)、木村利晴(議長)

[随員職員]

- ・議会事務局 小川正一、吉井博貴

※実参加数 議員10人・職員2人 計12人

2. 視察期間

平成30年5月7日(月)～8日(火) (2日間)

3. 視察先及び視察目的

(1) 5月7日(月) 山梨県 甲府市

- ・防災対策整備事業について
- ・対面式議場の選択の経緯と議会運営における利点について

(2) 5月8日(火) 山梨県 山梨市

- ・移住・定住促進事業について
(ふるさと市民制度による地域活性化を含む)
- ・議会議員の倫理に関する規定等について

4. 視察報告

(1) 甲府市

◆市の概要 [面積 212.47km² 人口 190,456人]

山梨県のほぼ中央に位置する県庁所在地であり、明治22年7月1日に市制施行。山岳地域には2,000mを越える峰々が連なり、市街地は甲府盆地の中心部に位置する。御岳昇仙峡や芦川溪谷といった豊かな自然に恵まれた土地柄。

◆視察時の状況

- ①視 察 日 平成30年5月7日(月)
- ②視 察 時 間 午後1時15分～午後4時
- ③視 察 会 場 甲府市役所
- ④対応者職氏名 甲府市議会事務局 議会事務総室 議事調査課
課長補佐 橋本様
主 任 松本様
- ⑤写 真 添 付 別添

【防災対策整備事業について】

◆視察先調査事項の概要

東日本大震災の教訓を生かし、市民一人ひとりの生命・財産が守られるよう、災害時の防災・減災対策を進めており、多くの施策が充実。

なかでも、平成18年度の厚生労働省ガイドラインを参考に、独自の体制づくりに取り組んでいる。

◆調査事項に対する視察目的

防災整備事業については、「避難行動要支援者全体計画」の避難行動要支援者名簿作成の運用と実態の調査。

自主防災組織については、市内520自治会中、503自治会(96,73%)が結成しており、その内容についても詳細な説明を受ける。

◆市政との関連性(視察地選択の理由等)

「避難行動要支援者全体計画」の整備状況や避難支援等関係者との連携、災害時の帰宅困難者への対策など、本市の防災施策への参考項目であり、行政視察地として選択しました。

◆市政の課題等に対し参考になった点等

「知る・備える・守る わが家の防災マニュアル」は34頁にわたる詳細なデータが駆使されており、大きな避難場所マップは本市の防災整備事業の参考になりました。

また、本年4月より導入した、甲府市防災アプリの無料配信は災害時だけでなく、平時から活用できる防災ツールで大いに参考になった。

【対面式議場の選択の経緯と議会運営における利点について】

◆視察先調査事項の概要

新庁舎建設に関して平成19年6月18日に調査特別委員会を立ち上げ、現在の対面式議場を平成25年5月より新庁舎移転以降に開設。

全員協議会での議員討論会や調査研究会で討論を重ね、傍聴者や執行部、議員間との緊張感・臨場感ある議会としての対面式議場を採用した。

◆調査事項に対する視察目的

本市としては、形が違うものの、市民に開かれた議会、緊張感のある議会をめざすときは、共通するものがある。

質問形式の見直し、情報発信（インターネットやCATV）も、本市に類似するものである。

委員会と一般質問の会場が別になっており、議場の利用率が低いのが課題となっている。

◆市政との関連性（視察地選択の理由等）

議会改革という観点からの視察であり、一般質問等、一括質問、分割質問、一問一答に分かれているのは八街市と同様であった。

この中で、一般質問の発言時間について、会派構成員1人あたり12分であると聞き、本市との差異を感じる。

また、開会時間が午後1時から5時までであるということも今後の課題かと思われる。

◆市政の課題等に対し参考になった点等

現在の本市議会の議場の使い方、委員会のもち方等は、八街市の方が議員の公的性からすると妥当であると思われるが、一方で、質問内容を精査し事前事後の執行部との打ち合わせや枕ことばなど、簡素化し短い時間で済ませられることも、今後工夫したい。

(2) 山梨市

◆市の概要 [面積 289.80km² 人口 35,536人]

甲府盆地の東部に位置し、都心から約100km圏、JR中央線、中央自動車道で90分という交通の利便性に恵まれ、笛吹川とその支流などがもたらす肥沃な土地の恩恵を受け、なだらかな斜面や平坦地に広がる果樹園は、美しい景観をおりなすとともに、全国有数の生産量を誇る。

◆視察時の状況

- ①視察日 平成30年5月8日(火)
- ②視察時間 午前9時40分～午後12時
- ③視察会場 山梨市役所
- ④応対者職氏名 山梨市議会事務局
主幹 〇〇様
主査 〇〇様
- ⑤写真添付 別添

【移住・定住促進事業について（ふるさと市民制度による地域活性化を含む）】

◆視察先調査事項の概要

都心から、約100km圏にある、人口35,536人の市であり、移住、Uターン、Iターンに向けて積極的に事業を推進しており、多くの成果を上げている。

また、移住定住ポータルサイト「山梨市移住計画」を開設については、本市でも早急に取り組みたい調査項目でした。

◆調査事項に対する視察目的

空き家・空き店舗バンクに関する情報や、子育て世代に対する数々の施策は充実しており、移住したい地域のランキングでは高い評価を得ており、先進自治体として調査対象にしました。

◆市政との関連性（視察地選択の理由等）

「空き家バンク制度」は利用登録者442人、述べ1,170人、成約件数90件、問い合わせは、月60件以上あり、その他「ふるさと市民制度」や「山梨市提案型協働のまちづくり支援制度」など、本市にとって参考になる多くの施策を行っており行政視察地として選択しました。

◆市政の課題等に対し参考になった点等

山梨市は都心から約100km圏、八街市の倍の距離に位置する都市ですが、移住・定住促進の施策では、多彩な施策で成果を上げており、本市の課題克服への、多くの示唆を得る事が出来ました。

【議会議員の倫理に関する規定等について】

◆視察先調査事項の概要

市議会議員のしてはならない政治倫理規程の作成は、その必要性を強く感じる。山梨市は市町村合併後、平成22年11月に、それまでの規程見直しを含めて、「山梨市議会政治倫理規程検討委員会」を立ち上げ新たなる規程を作成した。

◆調査事項に対する視察目的

市議会議員は市民全体の奉仕者であることを考えたとき、人格と倫理の向上に努め、議員自ら清潔で信頼される政治の実現をめざすことはもとより、現在における市民の意思、社会情勢の変化等を見すえた中で、今後の議員の在り方の基準となる市議会政治倫理規程の策定が必要であり、そのための必要調査研修となる。

◆市政との関連性（視察地選択の理由等）

本市も市民の様々なニーズに応える市議会活動が求められ、そのために議員としての規範、モラルの確かなものが必要である。

目的、政治理念基準、兼職に関する遵守事項等、本市としても現在の課題をみつめ、見直しを含めた八街市の地域に合う倫理規程を調査すべきである。

◆市政の課題等に対し参考になった点等

本市としても、これまでの慣例または前例に倣う考えがまだみられるが、現代情勢、今後の社会状況を踏まえて、議員としての倫理の樹立を調査委員会の立ち上げて議論の必要がある。

甲府市



山梨市

